

日EU・EPA協定の国会批准 に断固抗議する委員長談話

本日未明、参議院本会議において、日EU・EPA協定承認案が可決し、成立された。衆議院と同様わずか4時間半の審議で、多くの問題に対して十分な議論がされないまま数の力で採択したことに断固抗議する。

日EU・EPA協定は、乳製品をはじめ加糖調製品や小麦製品などTPPを上回る合意内容であり、とりわけ本道農業への影響が危惧され、ひいては地域経済・社会にも甚大な影響を及ぼすことは必至である。

しかしながら、国会においては、欧州委員会が公表した対日輸出額が日本の影響試算した数値を大きく上回っていることに明確な答弁を得ないままに審議を打ち切り、日本政府の試算の妥当性が大きく問われるものであり、断じて容認できない。

よって我々は、引き続き、国内農業を犠牲にする貿易交渉に断固反対し、国民の命と暮らし、北海道農業・農村地域を守る運動を強力に展開していく。

2018（平成30）年12月 8日

北海道農民連盟委員長 西原正行